

認定看護師 CN-NEWS

VOL.17

2019年2月 第17号



認定看護師の活動や情報を紹介します

看護フェアを開催しました！

昨年の10月24・25日に「安全な看護を提供するための技」をテーマに看護フェアを開催しました。参加した方からは「タイムリーな内容で知識が深まった」「最近あったインシデントの内容だったので基本を学べてよかった」などの感想をいただきました。2日間で267名の方が来場くださいました。お忙しい中、多数のご参加ありがとうございました。



緩和ケア看護認定看護師 「ELNEC-J (エンド・オブ・ライフ・ケア) 研修会報告」

11月3、4日にELNEC-J研修会が開催されファシリテーターとして参加しました。人生最期の時間を大切に過ごす看護や看取りのケアを学ぶ内容でした。今年には緩和ケア阿部医師によるACP（アドバンス・ケア・プランニング：将来の意思決定能力の低下に備えて、患者や家族とケア全体の目標や具体的な治療・療養について話し合う過程）の特別講義もあり、より充実した研修となりました。2019年は10月頃に開催予定です。全人的ケア、症状緩和、価値観を大切にしたい意思決定支援など、座学だけではなくロールプレイや事例検討を通して皆で一緒に学べる一体感のある研修となっていますので皆さん是非参加して下さい。

糖尿病看護認定看護師 「7階東ナースステーションでの活動報告」

糖尿病患者さんへの良好な血糖コントロールに向けたケアを行っています。糖尿病の治療は患者さん自身が生活の中で薬物・食事・運動療法を取り組む必要があります。退院後も患者さんらしく治療の自己管理を継続しながら生活できるように、支援しています。また、病棟の糖尿病看護チームと協力し、病棟内でフットケア回診も行っています。糖尿病看護で困ったことがあれば、ご連絡下さい。

集中ケア認定看護師 「呼吸サポートチームの活動」

毎週水曜日に医師・臨床工学技士・理学療法士と共に、院内の人工呼吸器を装着している患者さんのベッドサイドに訪問し、人工呼吸療法が安全で効果的に行えるようにサポートしています。ラウンドでは患者さんの酸素状態を確認しながら、人工呼吸が安全で安楽か、病棟で人工呼吸器管理で困っていることはないか確認しています。呼吸器のウイニング、鎮静管理、気管チューブ固定や排痰方法、早期離床など、ケアや管理で困っていることや疑問に思うことがあればご相談ください。



活動日変更のお知らせ 皮膚・排泄ケア認定看護師

退院後のストーマ患者さんの外来フォローのため、活動日を第1・3木曜日から、第1・3火曜日に変更しました。今まで通り病棟のスキンケアに対する相談も受け付けておりますのでお気軽にご連絡下さい。



すぐに活かせるベッドサイドケア

どこの病棟でも接する機会が多い患者さんについて専門分野からベッドサイドケアのポイントを紹介します！



適切なドレーン固定

皮膚・排泄・ケア認定看護師

ドレーンやルートの確実な二次固定にΩ固定があります。事故抜去予防のためにも、摩擦やずれによって固定が剥がれないよう適切に固定していく必要があります。もう一度、適切なΩ固定が実施できているか確認してみましょう！

ポイント1

土台

Ω固定用

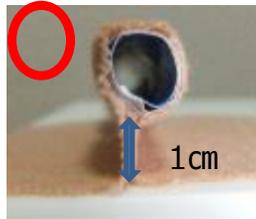
固定するテープは土台の1.5倍の長さにカット

ポイント3



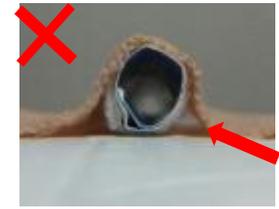
切り込みを入れたテープで補強し、体動やドレーンの重さによる剥がれを予防

ポイント2



ナイスΩ！

1cm程度高さをつけるように、ドレーンにテープを巻き付けて固定



浮き

テープがドレーンに巻き付いていないのですぐ剥がれる



合言葉はナイスΩ！

確実な固定がインシデント防止

につながります！

新生児の胃管固定

新生児集中ケア認定看護師

新生児の胃管固定は、2点固定を基本としています。方法として、1次固定はα留め、2次固定をΩ留めとしています（写真1）。



① 1次固定は、α留め

α留めは、カテーテルとテープの接着面が広く、しっかりと固定できる。剥離刺激が強い。

② 2次固定は、Ω留め

Ω留めは、カテーテルとテープの接着面が狭い。分泌物などで剥がれやすいが、剥離刺激は少ない。

新生児の表情を妨げないよう、皮膚へのテープの貼付面積は最小限とします。ただし、安全性を考慮し、確実に固定できる方法で実施します。一見、固定されているように見えてもカテーテルとテープが密着していないなど固定が不十分なことがあります。目視のみでなく、実際に触れて確認しましょう。